

●ネイリストを目指された経緯を教えてください。

高校生の頃からネイルに興味がありました。

大学在学中に1年休学をし、ニューヨークのネイルスクールに留学をし、ライセンスも取得しました。

当時は日本のネイルアートはアメリカでは浸透しておらず、自分でやったネイルをしていると街中で「どこでやったの？」と話しかけられる程。

日本のネイル技術はすごい！いつか海外で日本のネイルを披露したい！とこの時強く思いました。

大学卒業後は、化粧品会社に就職しました。

アメリカで働く事を第一目標にしていたので、アメリカ支社がある会社を選びました。

OLとして働く中で、アメリカには会社からの転勤で行けるかもしれないけど、「私はネイリストとしてアメリカに行きたいんだ。」という気持ちが再度芽生え、2年で退職し、ネイリストに転身しました。

●海外に行かれたきっかけを教えてください。

検定を取得するために日本のネイルスクールに通いながら、都内のサロンに就職しました。

アメリカで働く為の「アーティストビザ」を取りたい事を周囲にも話していて、当時のボスからもサポートを受け、TVや雑誌などメディアの仕事の実績を付けていきました。

3年ほど勤めていた時に東日本大震災が起こり、ボスから「今やりたい事をやらないと後悔するよ。」と言って背中を押して頂き、海外に渡る決心がつきました。

アメリカへのアーティストビザが結局難しく、でも足踏みしている訳にもいかず、ワーホリビザを取得できるカナダにしてみよう！と、2012年に渡航しました。

●カナダのワーホリはどうでしたか？

カナダのトロントに渡り、すぐローカルのネイルサロンで勤めました。

形態は日本のネイルサロンと全く違い、ポリッシュワンカラーを早く仕上げるスタイル。

ネイルアートが好きでネイルの道に進んだのに思うような仕事ができず、商材も十分に揃っていなかったため「あのパーツがあればもっと可愛くできるのにな。」などフラストレーションを溜めながら勤めていました。

接客の感じも全く違い、そのお陰で自分のやりたいサロンイメージが明確化されました。

半年ほどローカルサロンで働き、残りの半年はフリーランスで働いていました。

●帰国後はどうされましたか？

一年ほど日本に帰国し、結婚を機にトロントに戻ってきました。

永住権を取得したので、ワーホリ時にイメージしていたお店を作る準備を始めました。

2016年に会社登録をしてサロン「from tokyo」をオープンさせました。

トロント唯一の日本人経営ネイルサロンとして営業しています。

日本ネイルアートを提供することがコンセプトなので、スタッフは全員日本人。

お客様もスタッフも安心できるネイル・美容サロンを作りたかったのです。

●日本人スタッフさんの雇用についてはどうですか？

有難いことにネイリストさんがどんどん集まってきてくれました。

コロナ前までは9名スタッフが在籍していました。

ワーホリで渡航してくるネイリストさんが多くてInstagramなどから応募連絡を頂けます。

探してきてくれると、ガッツを感じるのととても嬉しいですね。

自分自身がビザなどの問題で困ったことを経験しているので、ネイリストさんが安心して技術を提供できる場を作りたい

と思っています。

そしてこの環境を保持していくことが私の役目です。

お客様は9割ほどローカルの方で接客は英語ですが、英語が話せないスタッフもスタッフ同士でサポートしています。

初めは全く話せなかったスタッフの成長も嬉しいですね。

ビザ満期を迎え、このまま働きたいと言ってくれるスタッフにはワークビザサポートも行っています。

日本人ネイリストは世界でどんどん活躍できると思います。

仕事がない事はないので、是非一歩踏み出してみてください！

●サロン経営はいかがですか？

ジェルネイルのみのメニューで運営しています。

トロントにはアートができるサロンが少なく、価格はローカルより高めに設定しています。

在住日本人の方は10~15%程であとはローカルのお客様。

日本の商材を使っていることやアートを楽しめる事としてお客様がお客様を呼んで来て下さり、お陰様で日々たくさんのお客様に来ていただいています。

商材は年に2回ほどエキスポ時を中心に、日本に帰国する際に仕入れています。